

レベル
★★
ロングトレイル

神仏習合発祥の地・六郷満山の歴史と文化に触れる道

5名から催行決定

国東半島 峯道ロングトレイル 4日間

大分

2018年 4月2日(月)～4月5日(木) ※羽田発着でのご参加、現地(大分空港)集合・解散
でのご参加も承ります。詳細はお問い合わせ下さい

旅行代金 お一人様 **168,000円**(新千歳発着) **150,000円**(羽田発着) **128,000円**(大分発着)

催行決定



↑中山仙境の岩峰群を望む展望台にて。ひっそりと石仏を祀った祠があり、厳かな気持ちになります(2日目)

【利用予定航空会社】 全日空、日本航空、エアドゥ、ソラシドエアなど **【利用予定ホテル】** 真玉温泉/スパランド真玉山翠荘

【食事】 朝3・昼0・夕3 **【最少催行人数】** 5名(最大10名)

【1人部屋追加料金】 12,000円

【添乗員】 新千歳空港から全行程同行

※6名様以上の場合は現地トレイルガイドが同行



←平安時代に掘られたとされる熊野磨崖仏(国重文)。左が不動明王、右が大日如来。鬼が一夜にして築いたとの伝説がある石段も必見(1日目)

ポイント

- 1 独特の山岳仏教文化が花開いた国東半島の山懐を縫う歴史あるトレイルを2日間じっくり歩く!
- 2 山里に桜が咲き誇るシーズン。
- 3 修験の道らしい荘厳なフア系が随所に。少々スリリングな石橋や岩場歩きもあり、達成感抜群!
- 4 熊野磨崖仏、富貴寺、宇佐神宮など歴史遺産も訪れます ※利用航空会社スケジュールによります
- 5 温泉旅館に3連泊。歩行に不要な荷物は預けて手軽にハイキング。荷物の移動も無くて快適!

→全国に約4万社ある八幡宮の総本社・宇佐神宮。国東半島に神仏習合の山岳仏教文化が育まれた背景には、宇佐神宮が大きく関係しています。本殿は国宝(4日目)



	日	地名	行程	食事
1	4/2 (月)	新千歳 羽田 大分 真玉温泉	新千歳→羽田→大分 着後、専用車にて 国東半島 へ。途中、国史跡重要文化財の 熊野磨崖仏 、日本三大阿弥陀堂の 国宝富貴寺 などを見学しながら 真玉温泉 へ。 【真玉温泉/ホテル泊】	一 一 夕
2	4/3 (火)	真玉温泉 猪群山 中山仙境 六社神社 真玉温泉	■ 峯道ロングトレイル1日目 /T-4コースを歩きます 朝食後、宿からスタート。真玉温泉… 猪群山 (458m/山頂東側にあるストーンサークルを往復)…飯牟礼神社… 中山仙境 (奇岩峰が連なるスリリングな岩尾根コース。鎖場もあり、特に 無明橋 と呼ばれる岩と岩の間に渡された石橋は、幅 50m しかなくスリル満点 ※悪天時は迂回コースを通ります)… 夷耶馬 (両側が切れたヤセ尾根)… 霊仙寺・実相院・六所宮 下山後、送迎車で宿へ。 ●歩程約 12 km/約 6 時間 30 分 【真玉温泉/ホテル泊】	朝 一 夕
3	4/4 (水)	真玉温泉 文殊仙寺 成仏寺 神宮寺 行入ダム 両子寺 真玉温泉	■ 峯道ロングトレイル2日目 /K-3コースを歩きます 朝食後、送迎車にて 文殊仙寺 へ。日本三大文殊のひとつである古刹は紅葉の名所でもあります。ユニークな形の仁王像も必見。拝観後、スタート。 …紫竹観音… 清滝観音 (美味しい清水が頂けます)… 成仏寺 (修正鬼会が催されることで有名)… 岩陰遺跡 (国東町史跡)…横手越…帝釈堂… 神宮寺 ・奥の院… 泉福寺 (開山堂は国の重文)…行入ダム公園 ●歩程約 15.5 km/約 6 時間 30 分 下山後、送迎車または専用車にて 1300 年の歴史を持つ六郷満山の総本寺・ 両子寺 (ふたごじ)の 仁王像 を見学し、宿へ。 【真玉温泉/ホテル泊】	朝 一 夕
4	4/5 (木)	真玉温泉 宇佐神宮 別府温泉 羽田/新千歳	朝食後、バスまたは専用車で 宇佐 へ。全国八幡宮の総本社・ 宇佐神宮 に参拝。各自、昼食後、 別府温泉 のプチ観光へ。※観光場所は航空スケジュールによります 専用車にて大分空港へ。 大分→羽田→新千歳	朝 一 一

※現地の諸事情により、多少行程が変更になる場合があります。 ※歩程は休憩などを除いた実質歩行時間の目安です。
 ※1 日目の見学場所は利用航空会社(大分空港の到着時間)によって変更する場合があります。
 ※トレイル日の昼食は各自でご用意下さい。宿にてお弁当などの注文もできます。
 ※ルート中は何箇所か車道(駐車場)を通るので、途中でのエスケープも可能です(※途中下山の場合、宿までの交通費は各自負担となります)

～六郷満山の聖域～ 国東半島峯道ロングトレイル

多くの山々が連なる国東半島に古来より息づいてきた山岳信仰。そこに奈良から平安時代、仏教と神道(宇佐八幡信仰)が融合し、独特の山岳仏教文化「六郷満山」が生まれました。その修行として行われたのが険しい岩峰や山道を縫って歩く「峯入(みねいり)」と呼ばれる難行です。この峯入コースを基本にハイキングルートとして整備されたのが「国東半島峯道ロングトレイル」で、熊野古道に匹敵する歴史古道として今、注目されています。当ツアーでは全 10 区間のトレイルの中から、国東半島の山深い絶景、由緒ある歴史や文化に触れる2コースを歩きます。



↑六郷満山の総寺院、両子寺の山門に威風堂々と立つ仁王像(3日目)



↑切れ落ちた岩の間にかかる中山仙境の名所・無明橋。幅が 50 cm ほどしかなく何ともスリリング(2日目)



←トレイル中には古刹、古社、石仏がいたるところに残ります(イメージ)

コース T-4



エリアガイド

START スパランド真玉*

猪群山

ストーンサークル

飯牟礼神社

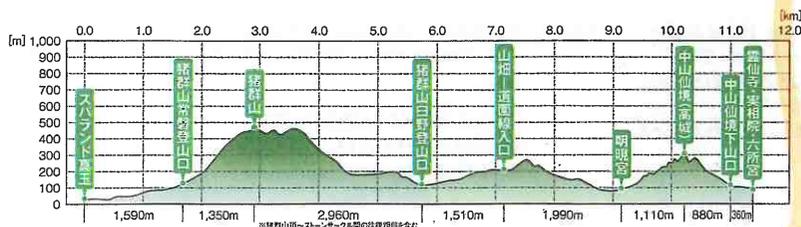
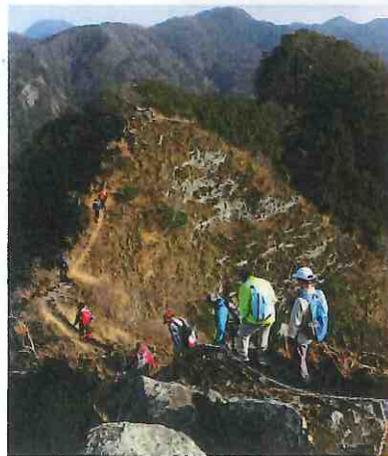
中山仙境(高城)

GOAL 霊仙寺・実相院・六所宮*

*T-3のゴールを兼ねる ▲K-1のスタートを兼ねる

豊後高田コースの核心部、 奇岩絶峰の連なる岩尾根歩きを楽しむ11.7km。

コースの起点は良質な泉質のスパランド真玉。そこから県道654号線を400メートルほど西進し、目印の道標から猪群山へ。猪群山には常盤の巨石群やストーンサークルなど見どころが多い。山頂から臼野地区に下りた後は、山畑一道園線の入口から再び山道に分け入って道園地区へ。コースハイライトの中山仙境へは道園にある明現宮の横から取り付く。中山仙境の尾根道は絶景の連続で、特に無明橋や高城付近の展望は抜群。終点は中山仙境北側の霊仙寺・実相院・六所宮となる。



猪群山 [ストーンサークル] (いのむれやま)

豊後高田市真玉にある猪群山は低山ながら、西国東で最も目立つ山である。山頂の東にあるストーンサークルは古くから有名で、昭和56年には作家の松本清張氏と考古学者の斎藤忠氏が登って話題となった。入口には陰陽石があり、その先はかつて女人禁制とされた結界の世界。一際目立つ御神体石を中心として配された巨大な列石は一見の価値がある。



中山仙境 (なかやませんきょう)

豊後高田市夷にある中山仙境は標高こそ低いものの、奇岩絶峰の連なるスリリングな岩尾根歩きが楽しめる場所。そのため、部分的に危険な場所もあるので、足もとが濡れているときなどは迂回路をとった方がよい。登山口はいくつかあるが、ロングトレイルコースでは道園地区にある明現宮の横が取り付きとなる。ルート上には無明橋や最高点の高城、隠洞穴など見どころが多い。



エリアガイド

またま いのむれやま いいむれじんじや なかやませんきょう
 スパランド真玉～猪群山～飯牟礼神社～中山仙境
 れいせんじ じっそういん ろくしょくう えびすだに
 ～霊仙寺・実相院・六所宮(夷谷)

豊後高田市真玉にあるスパランド真玉がコースの起点。ここから県道654号を400メートルほど西進すると、右手に猪群山に通じる小径があります。そこから延びる舗装林道の終点が猪群山常盤登山口(ときわとざんぐち)です。中腹には「常盤の巨石群」があり、特に立石(たていし)と呼ばれる大岩はその中心的な存在です。山頂は広く、東屋やベンチが設置されています。猪群山の象徴ともいえるストーンサークルは山頂から東に延びる道を10分ほど歩いた場所に位置し、一際目立つ神体石を中心に配された巨大な列石は一見の価値があります。

その後、いったん山頂まで戻り、遊歩道から飯牟礼神社を經由し猪群山臼野登山口(うすのとざんぐち)まで下ります。臼野地区に下りた後は舗装道を東に進みます。左手に大きな溜池を見ながら舗装道を1.5キロメートルほど歩いて行くと、右手に山畑一道園線入口が見えてきます。ここから再び山道へ入ります。道の途中にはいくつか展望ポイントがあり、先に立ち寄ったストーンサークルやこれから向かう中山仙境の遠景を望むことができます。

景色を楽しみながら長い山道を抜けると、豊後高田市夷の道園地区に出ます。出口付近には谷ノ迫磨崖像(たにのさこまがいざう)があります。そこから舗装道を南東に少し下ったところにある明現宮(みょうけんぐう)の横のコンクリート舗装された山道が中山仙境の取り付き点です。急な山道を300メートルほど登ると、南北にのびる2本の登山道が交差する登山道合流点に出ます。ここから先の尾根道は絶景の連続で、特に無明橋(むみょうばし)や高城(たかじょう)付近は360度の展望が楽しめます。足元に注意しながら「馬ノ背」と呼ばれる細い岩尾根を東進し、坊中地区へ下った後、舗装道を西に進むと、コース終点の霊仙寺・実相院・六所宮が見えてきます。

スポット紹介



いのむれやま
猪群山(ストーンサークル)

猪群山は低山ながら西国東で最も目立つ山です。山頂の東にあるストーンサークルは古くから有名で昭和56年には作家の松本清張氏と考古学者の斎藤忠氏が登って話題となりました。



なかやませんきょう
中山仙境

中山仙境は標高こそ低いものの、奇岩絶峰の連なるスリリングな岩尾根歩きが楽しめる場所。特に無明橋と呼ばれる石橋や最高点の高城付近からは360度の絶景を望むことができます。

エリアガイド

もんじゅせんじ じょうぶつじ たいしゃくどう じんぐうじ せんぶくじ
文殊仙寺～成仏寺～帝釈堂～神宮寺～泉福寺～
 ぎょうにゅうじ ぎょうにゅう こうえん
行入寺～行入ダム公園

国東半島の名だたる古刹を巡る国東半島峯道ロングトレイルの中でも特に社寺巡りの要素が強いK-3コース。その基点となるのが、日本三文殊のひとつである**文殊仙寺**です。まずは文殊仙寺の駐車場から**文殊山(もんじゅざん)**の登山道に取り付きます。しばらく進むと、右手に**紫竹観音(しちくかんのん)**に至る分岐点があります。この分岐で一般登山道から離れて、紫竹観音へお参りします。その後、再び一般登山道と交わり、次に**清滝観音(きよたきかんのん)**へ向かいます。清滝観音では清らかな清水を戴くことができます。観音堂で喉を潤した後は、コンクリートの舗装道を**京乱(きょうらん)**地区へ下っていきます。京乱にある**大きな宝篋印塔(ほうきょういんとう)**からは舗装道を東に進み、坂口橋を渡って県道652号線に合流。そのまま県道を東進すると、修正鬼会(しゅじょうおにえ)が行われることで有名な**成仏寺**に至ります。成仏寺から先は再び田深川(たぶかがわ)の対岸に渡り、国東町史跡に指定されている**岩陰遺跡(いわかげいせき)**に立ち寄った後、**横手越(よこてごえ)**の峠を越えていきます。峠を越えると、次はアスファルトの舗装道を**神宮寺**へ向かいます。コースの途中には、ホーヤク祭が行われる**帝釈堂**があるので立ち寄ってみるとよいでしょう。神宮寺に参拝した後はさらに東進して**泉福寺**まで歩きます。明治初期まで九州曹洞宗の総本山として栄えた泉福寺には国の重要文化財に指定されている開山堂や仏殿など多くの文化財があります。泉福寺からは横手川沿いの道を西に進み、**行入寺**へ向かいます。行入寺に参拝した後は、本堂と庫裏の間を通過して遊歩道の入口へ進みます。入口から10分ほどで『千の岩』へ行く分岐がありますが、コースはそのまま120メートルほど直進したところからダム湖の方へと谷を下り、**行入ダム公園**を目指します。



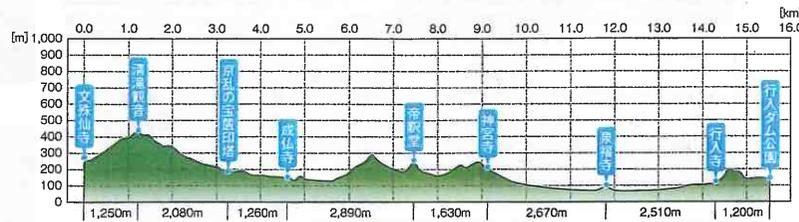
「三人寄れば文殊の知恵」の発祥地としても知られ、秋には文殊耶馬とも呼ばれる見事な紅葉が境内を染める。また、日本一大きな宝篋印塔やユニークな形の仁王像など、貴重な石像文化財が残されている。



全国でも数少ないシビックデザインダム。ダム周辺は公園として整備されており、四季折々の自然を楽しみながら散策を楽しむ。公園敷地の隣にはパークゴルフ場も整備されている。

文殊仙寺から行入寺へ 名だたる5つの寺院を巡る15.5km。

コースの基点となる文殊仙寺の駐車場から文殊山登山道に取り付く。しばらく進むと、清滝観音の分岐がある。山頂へ伸びる本道は右方向だが、ここは左に進路をとり、清滝観音へ。清滝観音からはコンクリ舗装の道を京乱地区に下る。京乱の大きな宝篋印塔から先は東進して成仏寺へ。その後、横手越の峠を越えて神宮寺へ向かう。神宮寺に参拝した後はさらに東進して泉福寺まで歩く。泉福寺からは横手川沿いの道を西に戻って、行入寺を経由、コース終点の行入ダム公園を目指す。



コース **K-3**

エリアガイド

START **文殊仙寺***

成仏寺

帝釈堂

神宮寺

泉福寺

行入寺

GOAL **行入ダム公園^**

*K-2のゴールを兼ねる ▲K-4のスタートを兼ねる

文殊仙寺(もんじゅせんじ)

「三人寄れば文殊の知恵」の発祥地としても知られる、日本三文殊のひとつ。南北朝時代には末元本寺の文殊仙寺、江戸時代には我眉山文殊寺とも呼ばれ、日本一大きな宝篋印塔やユニークな形の仁王像をはじめとする貴重な石像文化財が多く残されている。秋には「文殊耶馬」とも呼ばれる見事な紅葉が境内を染め、本堂である客殿では写経や座禅体験もできる。



泉福寺(せんぶくじ)

九州では珍しい室町時代後期の本格的禅宗様仏殿。国東半島に勢力を張った田原氏能の母、無伝尼の発願により永和元年(1375)、豊前・豊後で初の禅寺として開山された。天正9年(1581)、キリシタン大名である大友宗麟による焼き討ちをうけるも、明治時代の初期まで九州曹洞宗の総本山として栄えた。境内には国指定重要文化財の開山堂や仏殿など多くの文化財がある。

